

交通安全啓発事業

[575]

事業の位置づけ

一般会計

政策	04	安全で安心なまちづくり	事務事業コード	43-0101	実施計画	
施策	03	交通安全対策の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	交通安全意識の高揚	担当	市民生活部 市民活動課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	地域住民、歩行者、運転者、小学生、保育園児等	啓発活動を実施 ・交通安全教室(全保育園、児童館) ・愛知県警Bフォースによる自転車セーフティスクール(全中学1年生) ・OSCNによる小学生体験型自転車交通安全教室(全小学3年生) ・交通安全に関する出前講座(高齢者デイサービス、各種サロン等) ・各季交通安全運動期間における交通安全啓発キャンペーン(横断事故防止キャンペーン、自転車利用生徒へ安全啓発、飲酒運転根絶、シートベルトチャイルドシート着用等) ・交通安全街頭監視活動(交通死亡事故ゼロの日、県下一斉大監視) ・交通少年団啓発活動補助 ・健康フェスタ・市民祭において、交通安全コーナーの開設 ・名鉄尾張旭駅、商業施設でのヘルメット着用推進を図る自転車展示 ・自動車学校とドライビングクリニック事業委託(シルバー、ビギナー対象)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
交通安全啓発活動を実施することにより、市民一人ひとりが交通ルールを遵守している。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績
活動指標	A 交通安全啓発活動開催回数	回	47	43	60	39
	B					
成果指標	C 交通安全啓発者数	人	2,826	7,724	4,100	4,506
	D					
事業費 計			2,441	3,184	3,669	2,745
財源内訳		ア 国				
		イ 県		361	700	207
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	2,441	2,823	2,969

R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況)交通安全啓発は、昨年度に比べ開催回数が4回減少し、参加者も3,218人減少した。 (原因)交通安全啓発イベントは徐々に例年並みに戻っているが、規模等を縮小して実施しているイベントもあり、啓発者数は減少している。
	【成果指標の状況】 低下 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	ヘルメット着用の努力義務や損害保険の加入義務等の内容を広く市民に周知します。		
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
交通少年団の参加する交通安全キャンペーンや市内の小中学校で開催している自転車教室等で、自転車ヘルメット着用の重要性や努力義務化されることについての周知活動を積極的に実施した			

交通安全活動団体支援事業

[578]

事業の位置づけ

一般会計

政策	04	安全で安心なまちづくり	事務事業コード	43-0201	実施計画	
施策	03	交通安全対策の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	市民参加の交通安全活動の推進	担当	市民生活部 市民活動課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	交通安全活動団体	行政、警察、交通安全活動団体が一体となって、交通安全街頭監視ならびに交通安全啓発活動(スーパー店頭、駅前等街頭での交通安全の呼びかけ、啓発物品の配布、各種路上キャンペーン等)を行う。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	【交通少年団】 ・市内の小3~小6の児童で構成され、交通安全学習会や市の交通安全キャンペーン等への参加するとともに、市から委託を受け幅広い交通安全啓発活動を実施。 ・交通少年団経験者の中学生や高校生がリーダーとして、団員の指導を実施。 【守山尾張旭交通安全協会】(平成19年度~補助金の拠出を取りやめた。) ・四半期ごとに交通安全運動に参加。事務局は守山署 【守山尾張旭交通安全推進協議会】(平成18年度~補助金の拠出を取りやめた。) ・ボランティアで交差点での街頭監視等を実施。事務局は守山署 【交通安全尾張旭サポート】 ・市内在住の交通安全活動に賛同するサポーターで組織され、市民の交通安全の意識高揚と交通事故の撲滅を目的に街頭監視を実施。
補助団体による交通安全啓発活動等の実施により、市民一人ひとりが交通ルールを遵守している。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績
活動指標	A 委託料	千円	100	100	100	100
	B					
成果指標	C 交通安全市民団体のべ活動回数	回	28	26	250	14
	D					
事業費 計			100	100	100	100
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	100	100	100

R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 遅延あり	(現状) 活動回数は昨年度実績と比較して12回減少し14回であった。 (原因) R4年度もコロナ感染防止対策の影響もあり、市民団体参加の事業の自粛や開催規模の縮小もあり、活動回数が減少した。
	【成果指標の状況】 低下	
	【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	新しい生活様式を踏まえた支援を実施します。		
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
交通安全活動内容の見直しを行い、密にならないような対策、規模の縮小、実施事業の精査をした結果、実施回数は減少している。令和5年度については、全国的にコロナ対策の考え方も変わってくることから、改めて関連団体と打ち合わせを行い活動を支援していく。			

放置自動車撤去事業

[579]

事業の位置づけ

一般会計

政策	04	安全で安心なまちづくり	事務事業 コード	43-0301	実施 計画	
施策	03	交通安全対策の推進	評価区分	簡易評価	総合 戦略	
基本事業	03	交通安全環境の整備	担当	市民生活部 市民活動課		

事業の概要 (目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象 (誰、何に対して事業を行うのか)	手段 (事務事業の内容、やり方、手順)
	長期路上放置自動車	長期路上放置自動車を発見後、警告書貼り付け、警察署への廃棄物認定協議、廃棄物認定等の手順により放置自動車を処理する。
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)	
	路上に自動車が放置されていない。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績	
活動指標	A 路上放置処理対象自動車台数	台		1	0	0	
	B			0			
	C			0			
	D			0			
成果指標・事業費	事業費 計			6			
	財源内訳	ア 国	千円				
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般			6		

R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定	
--------	---	--

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

あんしん歩行エリア整備事業

[582]

事業の位置づけ

一般会計

政策	04	安全で安心なまちづくり	事務事業コード	43-0303	実施計画	
施策	03	交通安全対策の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	03	交通安全環境の整備	担当	都市整備部 都市整備課・三郷駅周辺整備推進室		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	エリア内の市が管理する道路 エリア内の道路利用者	印場・瑞鳳地区 約143ha 平成15年度 あんしん歩行エリアの地域指定 事業計画の策定 平成16年度～ 工事実施 平成22年度 事業完了
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	三郷北地区 約11ha 平成22年度 整備プランを策定 平成23年度～ 工事実施 平成28年度 事業完了
	側溝の有蓋化などにより、安全な歩行空間が確保できている。	三郷南地域 約13ha 平成28年度 整備プラン策定 平成29年度～ 工事実施 令和5年度 事業完了予定

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績
活動指標	A あんしん歩行エリア整備延長	m	207	177	400	164
	B					
成果指標	C あんしん歩行エリア整備率	%	31.3	43.1	70.0	51.1
	D 人身事故発生件数	件	4	5	10	4
事業費 計			10,793	11,207	10,500	10,314
財源内訳		ア 国	5,610	5,142	5,500	5,335
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	5,183	6,065	5,000	4,979

R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況)整備率は前年度実績と比べ8.0P向上している。人身事故発生件数は20.0%低下している。 (原因)交付金を例年程度受けられたため、ほぼ計画どおりに事業を進捗した。また、前年よりも人身事故発生件数は減少し、一定の整備効果は出ているものと考えられる。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	引き続きあんしん歩行エリアの整備を行います。		
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
あんしん歩行エリアの整備を進めた。			

交通安全施設維持管理補修事業

[580]

事業の位置づけ

一般会計

政策	04	安全で安心なまちづくり	事務事業コード	43-0306	実施計画	
施策	03	交通安全対策の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	03	交通安全環境の整備	担当	都市整備部 土木管理課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	道路利用者 市の管理する道路上にある交通安全施設 (公安委員会管理施設除く)	市民(道路利用者)からの通報及び日常パトロール(道路照明灯点検は夜間パトロール)により発見された生活道路上の安全施設(道路照明灯、防護柵、道路反射鏡等)の破損箇所等に対し、適切な補修を行う。 ・材料を購入し、市作業員により施行する。 ・請負業者により施行する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
安全な道路環境を保全し、道路利用者が交通事故に遭遇しないようになっている		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績
活動指標	A 維持補修を実施した箇所数(単年度)	箇所	131	98	160	100
	B 苦情・要望により処理した件数	件	131	98	160	100
成果指標	C 交通事故件数	件	186	256	285	230
	D					
事業費 計			17,721	18,196	18,205	19,651
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	17,721	18,196	18,205

R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況)交通事故発生件数は前年度実績と比べ10.2%低下している。 (原因)交通事故発生件数は26件減少した。これは、交通安全施設を適正に維持管理していることである。
	【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が中程度	

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

交通安全施設整備事業

[581]

事業の位置づけ

一般会計

政策	04	安全で安心なまちづくり	事務事業コード	43-0307	実施計画	
施策	03	交通安全対策の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	03	交通安全環境の整備	担当	都市整備部 都市整備課・三郷駅周辺整備推進室		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市の管理する道路 道路利用者	<p>下記箇所から整備の必要箇所を選定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民等からの要望箇所 ・事故発生箇所 ・市の道路パトロール等で整備必要と判断した箇所 ・ゾーン30指定区域 <p>現場を調査し、安全対策を検討する。 必要に応じ警察や地域住民と協議する。 道路安全施設整備工事を設計する。 工事を実施する。</p>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・H20年度 交差点のカラー化を実施(狩宿橋、印場橋北、庄中町北) ・H22・23年度 路肩のカラー化(通学路)を実施 ・H23年度 交差点のカラー化を実施(国道363号 南新町中畑) ・H27年度 交差点のカラー化を実施(稲葉町)
	道路の交通安全環境が良好に整備され、利用者が安全に通行でき、交通事故の少ない道路になっている	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績
活動指標	A 道路の安全施設整備箇所数(単年度)	箇所	26	26	20	17
	B					
成果指標	C 交通事故件数	件	186	256	285	256
	D					
事業費 計			16,528	17,694	16,600	19,810
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	16,528	17,694	16,600

R04年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が小さい・なし</p>	<p>(状況) 交通事故発生件数は前年度実績と同じであった。 (原因) 交通事故発生件数は令和3年度まで増加傾向であったが、令和4度は同数となったため、事故発生件数の増加を止めた。</p>
--------	---	--

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

南栄6号線整備事業

[1321]

事業の位置づけ

一般会計

政策	04	安全で安心なまちづくり	事務事業コード	43-0311	実施計画	
施策	03	交通安全対策の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	03	交通安全環境の整備	担当	都市整備部 都市整備課・三郷駅周辺整備推進室		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市道南栄6号線の道路利用者(車両、歩行者)	R1 現地測量 道路基本設計 交差点公安委員会協議
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	R2 不動産鑑定評価 用地測量
	車道を拡幅し、一方通行から対面通行にする。 歩道を設置し歩行者、自転車の通行の利便性向上や、周辺道路との連続性が確保されている。	R3-4 用地買収 R4 道路詳細設計 R5-6 整備工事

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績
活動指標	A 道路整備延長	m	0	0	0	0
	B					
成果指標	C 整備率(事業費ベース)	%	7	26	57	57
	D					
事業費 計			12,020	40,978	65,000	58,785
財源内訳		ア 国				
		イ 県	5,692	18,480	30,500	28,820
		ウ 地方債			31,000	26,900
		エ その他				
		オ 一般	6,328	22,498	3,500	3,065

R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況)整備率については予定通り進捗した。 (原因)道路用地の購入を進めるとともに道路整備工事を行ったため、予定通り進捗した。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい	
	【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	拡大
	地元と密に調整を行い、市道南栄6号線の道路拡幅事業を進めます。		
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
道路用地の購入を行った。また事業早期完了に向けて先行して一部側溝整備を行った。			

道路改良事業

[1322]

事業の位置づけ

一般会計

政策	04	安全で安心なまちづくり	事務事業コード	43-0312	実施計画	
施策	03	交通安全対策の推進	評価区分	簡易評価	総合戦略	
基本事業	03	交通安全環境の整備	担当	都市整備部 都市整備課・三郷駅周辺整備推進室		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
	道路利用者(車両)	労災病院西交差点(交差点改良) R2・予備設計 ・公安委員会協議 R6・用地測量・不動産鑑定評価 R7・用地購入・実施設計 R8・工事	霞ヶ丘9号線(道路改良) R2・用地測量・不動産鑑定評価 R3・実施設計・関係機関協議・用地購入 R4・工事
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	東大道5号線(道路改良) R6・実施設計・工事	霞ヶ丘線(道路整備) R4・実施設計 R5・工事
	道路を改良することで、渋滞の解消を図るなど、道路の利便性を高める。	巡検道線(自転車道整備) R2・公安委員会協議 R3・実施設計 R4・工事 「交差点改良事業」から名称変更し、事業内容の変更に伴い指標を変更(令和3年度から)	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績	
活動指標	A 交差点改良箇所数(R03~道路改良箇所数)	箇所	0	0	3	2	
	B						
成果指標	C						
	D						
事業費 計			2,926	3,718	69,050	67,692	
財源内訳		ア 国			7,672	6,370	
		イ 県					
		ウ 地方債				8,400	8,400
		エ その他				36,000	39,000
		オ 一般		2,926	3,718	16,978	13,922

R04年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定	
--------	--	--

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	霞ヶ丘9号線道路の改良工事を実施します。		
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
霞ヶ丘9号線道路の改良工事を実施した。			

高齢者交通安全事業

[1326]

事業の位置づけ

一般会計

政策	04	安全で安心なまちづくり	事務事業コード	43-0401	実施計画
施策	03	交通安全対策の推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	04	高齢者の交通事故対策の推進	担当	市民生活部 市民活動課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (04年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<p>高齢者</p> <p>意図(対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>高齢者が事故を起こさず、事故に遭わないようになっている。</p>	<p>・高齢者への運転免許自主返納支援 70歳以上の自主返納者に記念品を配布し、自主返納を支援する。 (R2年度実績)253人 (R1年度実績)302人 (30年度実績)181人 運転免許証の自主返納者への支援の充実を図るため、R2年度から「あさびーバス回数券」のほか「自転車乗車用ヘルメット」、「ショッピングカート」を加え、選択制に改めた。</p> <p>・高齢者交通安全教室を随時実施 ・シルバードライビングクリニック(瀬戸自動車学校にて運転技能教習実施)、体験型交通安全教室、シニアクラブ等出前講座) ・高齢者交通安全サポーターの募集と周知 高齢者が運転免許証を自主返納した後も、様々なサービスが受けられることで外出する機会が増え、また、街の活性化を図るため、市内事業所を対象に高齢者交通安全サポーター店を募集し、周知する。 ・後付け安全運転支援装置設置費補助事業の実施(令和3年度で終了)</p>

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	04年度実績
活動指標	A 啓発回数	回	1	3	10	7
	B					
成果指標	C 運転免許証の自主返納者数	人	253	242	310	166
	D 高齢者の死傷者数	人	36	47	55	36
事業費 計			3,060	995	803	679
財源内訳		ア 国				
		イ 県	千円	1,323		
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般		1,737	995	803

R04年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 一部遅延あり</p> <p>【成果指標の状況】 低下</p> <p>【成果向上余地】 余地が中程度</p>	<p>(状況) 運転免許証の自主返納者数は昨年度に比べ76人減少し、また高齢者の死傷者数は11人減少した。なお、死亡者は0人である。</p> <p>(原因) 運転免許証の自主返納者数は頭打ちである。人数を増やすには返納しやすい社会的な仕組みが必要と思われる。高齢者の死傷者数は減少しており、高齢者の交通安全に対する意識の高まりが見受けられる。</p>
--------	--	---

R04年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R04年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R04年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-